

講座名 「地図と TRIP」 ～柏の魅力を探ろう～

パレット柏

1 目的

これから市民活動を始めたい、参加したいという人のための入門講座である。講座に参加される皆さんで、3つの年代の地図を比較分析しながら、街の進化のポイントを自分たちで探し、実際に地図を持って歩いて観察する。自らが主体となって進める市民交流講座を目指す。

2 講座の具体的な内容

昭和5年、昭和47年、平成17年発行の国土地理院発行2万5000分の1地形図を利用し、地形図から柏市内の地形と土地利用の変化を比較、観察し、地図で得た情報を全員で共有した。地形図で把握できた特色ある地域を訪ね、土地の変化を確かめる。参加者が主体となり、意見や考えを出し合い、調整を図っていき、フィールドワークの楽しさを他の人に伝えられるようにしていく。

3 実施報告

9月14日(土) 受講式、概要説明(オープンスペースにて実施)

15名募集で40歳から82歳までの16名の参加者があった。市民講座を始めようとする方々のはじめの一歩として、講師をお願いせず、自分たちが主体になって活動を始めていくことを共有した。

10月19日(土) 地図を知る・地図に触れる(会議室にて実施)

3枚の地図を手に読み方から始める。台風19号の直後ということもあり、等高線で水害の痕を追い、ハザードマップでも確認する。参加者の自宅の地域周辺を読み、身近な水害対策を地図で読める行政的な対応を確認し、年代の違う地図で確認した。地図を読み声に出して人に聞くことで、多くの情報が得られることを理解していただいた。クイズ形式で読図を行い、楽しみながら進めていくことが出来た。

11月23日(土) 街を歩く with 地図(ウラカシ周辺実施)

読図の復習を行ったのち、参加者から新たな情報が多く寄せられたので紹介するとともに、若者が中心となって活性化の取り組んだ通称ウラカシ地区を散策した。刺繍アーティストの吉岡さんの店「縫」と、絵本の店「Huckleberry Books」の奥山さんにお店のことや、地域の状況などを伺った。ウラカシを愛するお二人の熱い思いを感じるとともに、街の景観から時代の流れを感じ、地図を通してその実際を学ぶことが出来た。

今後の予定

- 12月28日(土) 柏のイメージに触れる with 地図(日立台周辺を予定)
- 1月18日(土) 歴史を歩く with 地図(柏たなかから花野井周辺を予定)
- 2月22日(土) 柏の進化を知る with 地図(柏の葉旧通信基地周辺を予定)
- 3月21日(土) 柏駅周辺の地図を歩きながら描く(予定)



読図の学習



地図の読み取り



ウラカシの刺繍店「縫」でフィールドワーク



4 成果と課題

- ①成果
- ・まだ、講座の途中であるが、参加者が主体となって、学んだことや得た知識を声に出して、共有し合うことで、無理がなく、リラックスしながら、互いに学び、認め合う講座となっている。
 - ・主催者は会の流れの方向性をコーディネートし、参加者全体をまとめ、繋げることがサポートであると考え進めている。
 - ・地図が読めない年配の方も、周りの若い人の丁寧な助言に耳を傾け、生き生きと参加できている。
 - ・参加者が互いに持っている知識を人に伝える場として、周りが協力してわからないことをわかるようにする会としての最初の狙いは出来ていると思われる。
 - ・地図を読むたび、ここを見たい、ここを歩きたいという要望が増えてきており積極的に口にする人が増えてきた。
- ②課題
- ・コーディネーターが会の流れをうまくリードしているが、コーディネーターに頼るところが多く、全体としてはそこに頼りがちである。
 - ・地図の初心者、市民活動を始めて参加される人の初心者講座であるが、実際には多くの方が活動している人もいて、どこに焦点を当てるか難しいところである。コーディネーターとして初期の方向性を変えなければならない点も多々あった。

5 参加者の声

- ・全体としての正規のアンケートは最終日に取る予定であり、まだ実施できていないが、2名の方が事務局へ直接、「とても楽しい」とわざわざ伝えに来ていただいたり、他に2名の方がご自身の持っている資料や、必要な資料を収集されてきたり、積極的に参加していく姿勢がみなさんに一致してみられる。